



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <https://www.jalco-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 鈴木 英一
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 050-5536-9824

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,260	29.8	702	28.2	436	28.4	577	94.6
2021年3月期第2四半期	971	20.2	547	13.9	339	13.1	296	14.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 574百万円 (88.8%) 2021年3月期第2四半期 304百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	5.32	5.07
2021年3月期第2四半期	3.37	3.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	40,539	13,992	34.4	129.41
2021年3月期	36,495	13,880	37.9	126.99

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 13,941百万円 2021年3月期 13,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		2.00	2.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	3.1	1,800	41.4	1,170	47.4	1,170	10.2	10.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社SUNTAC
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	112,541,318 株	2021年3月期	111,510,518 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	4,811,148 株	2021年3月期	2,625,848 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	108,479,672 株	2021年3月期2Q	88,092,909 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲の変更)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度に商業施設5物件、アミューズメント施設4物件、計9物件を取得したことが寄与し、売上高12億60百万円（前年同期比29.8%増）、営業利益7億2百万円（前年同期比28.2%増）、経常利益4億36百万円（前年同期比28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億77百万円（前年同期比94.6%増）となり、いずれも前年同期比を上回る結果となりました。また、当第2四半期連結累計期間中の9月に第3四半期連結累計以降の売上に寄与する商業施設2物件、アミューズメント施設4物件を取得しております。

報告セグメントの業績は次のとおりでございます。

(貸金事業)

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十二分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における貸付金の返済に伴い営業貸付金が大きく減少することがあります。

当第2四半期連結累計期間において営業貸付金は、新規貸付45億62百万円、回収28億円により50億円49百万円（前期末比53.6%増）となりました。当事業部門における売上高は、2億円（前年同期比57.1%増）、セグメント利益は1億52百万円（前年同期比71.0%増）という結果となりました。

第3四半期以降におきましても、収益性及び担保価値等が十二分に見込める複数の貸付先において、資金需要が旺盛であるため、ソーシャルレンディング事業を絡めて、そのニーズに対して迅速に対応していく所存でございます。

(不動産賃貸業)

当事業部門におきましては、当第2四半期連結累計期間に新たな収益不動産を6物件取得し、収益不動産の保有残高は314億63百万円（前期末比12.4%増）となりました。前連結会計年度の2021年3月に取得した物件も寄与し、当第2四半期連結累計期間において、売上高は10億10百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は3億51百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

当社としては引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入してまいります。

当社の収益不動産については、収益性の観点から購入依頼のご要望も多いことから、保有資産残高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を考慮しつつ将来的には収益不動産の入れ替えも図ってまいります。

また、現在、売上高及び利益の増加に繋がる物流施設用不動産等の開発案件も手掛けており、今後の収益の増加に繋がる営業活動も行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して6億14百万円増加し、81億55百万円となりました。これは主に、株式会社SUNTACを連結範囲から除外したことにより受取手形及び売掛金が3億7百万円、商品及び製品が1億51百万円、秋田、五井の新規不動産取得の決済等から現金及び預金が7億69百万円減少し、一方で新規貸付により営業貸付金が17億62百万円、仕掛販売用不動産が1億41百万円が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して34億32百万円増加し323億83百万円となりました。これは主に、秋田、五井、藤岡の新規不動産取得等により有形固定資産が33億88百万円、特許権の取得等により無形固定資産が1億1百万円増加したことなどによります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して40億44百万円増加し405億39百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して8億88百万円増加し54億72百万円となりました。これは主に、株式会社SUNTACを連結の範囲から除外したことにより買掛金等が3億67百万円、短期借入金が2億77百万円減少し、一方で1年内返済予定の長期借入金が7億42百万円及びソーシャルレンディングにおける匿名組合預り金が8億66百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して30億43百万円増加し210億75百万円となりました。これは主に、長期借入金が27億21百万円、新規賃貸借契約により預り保証金が2億99百万円増加したことなどによります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して39億31百万円増加し265億47百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1億12百万円増加し139億92百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による自己株式4億8百万円の増加及び株主配当2億17百万円によって純資産が減少し、一方で親会社株主に帰属する四半期純利益5億77百万円を計上し、新株予約権の行使により資本金が82百万円、資本剰余金が82百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して10億87百万円減少し、4億96百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、13億75百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億3百万円及び減価償却費2億2百万円の計上、法人税等の還付による1億38百万円の収入があった一方、営業貸付金が17億62百万円、仕掛販売用不動産が1億39百万円、未収消費税1億37百万円及び法人税等2億92百万円の支払いがそれぞれされたことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、32億53百万円の支出となりました。これは主に、不動産取得により44億10百万円を支出した一方、不動産を売却したことにより12億82百万円が入金されたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、35億40百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入46億90百万円、匿名組合からの出資と払戻により8億47百万円、新株予約権の行使による株式の発行により収入1億63百万円を計上した一方で、自己株式の取得4億8百万円、株主配当2億17百万円、短期借入金の純減2億77百万円並びに長期借入金の返済により12億26百万円の支出などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月10日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当期における連結業績予想について修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,807,005	1,037,150
信託預金	177,678	148,188
受取手形及び売掛金	307,658	311
営業貸付金	3,287,174	5,049,468
商品及び製品	151,790	—
原材料	20,736	—
仕掛品	5,524	—
仕掛販売用不動産	1,393,000	1,534,500
未収入金	3,652	590
未収収益	32,900	46,986
未収消費税等	10,718	147,977
未収還付法人税等	138,832	136,814
その他	205,565	53,880
貸倒引当金	△440	—
流動資産合計	7,541,798	8,155,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,876,536	4,405,557
信託建物(純額)	2,720,479	2,660,843
機械及び装置(純額)	1,895	—
工具、器具及び備品(純額)	124,824	40,642
土地	17,073,474	19,078,461
信託土地	5,363,184	5,363,184
有形固定資産合計	28,160,394	31,548,689
無形固定資産		
特許権	—	108,573
借地権	—	3,400
ソフトウェア	18,859	14,628
電話加入権	284	284
のれん	5,807	—
無形固定資産合計	24,950	126,885
投資その他の資産		
投資有価証券	153,097	170,396
破産更生債権等	171,730	171,730
長期未収入金	87,546	88,503
差入保証金	35,833	38,388
長期前払費用	255,378	248,141
繰延税金資産	217,706	138,161
その他	103,571	112,435
貸倒引当金	△259,277	△260,233
投資その他の資産合計	765,588	707,523
固定資産合計	28,950,933	32,383,098
繰延資産		
株式交付費	2,997	999
繰延資産合計	2,997	999
資産合計	36,495,729	40,539,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,998	—
短期借入金	1,474,000	1,196,226
1年内返済予定の長期借入金	1,303,468	2,045,897
未払法人税等	182,294	167,992
前受金	148,726	179,292
信託前受金	18,921	18,921
匿名組合預り金	939,875	1,806,244
その他	338,329	57,703
流動負債合計	4,583,614	5,472,278
固定負債		
長期借入金	16,696,494	19,417,968
長期預り保証金	1,228,818	1,528,549
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	119	22,000
固定負債合計	18,032,025	21,075,110
負債合計	22,615,640	26,547,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,860	6,444,638
資本剰余金	7,525,100	7,607,878
利益剰余金	562,248	921,726
自己株式	△553,734	△961,959
株主資本合計	13,895,474	14,012,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67,813	△70,476
その他の包括利益累計額合計	△67,813	△70,476
新株予約権	52,428	50,768
純資産合計	13,880,089	13,992,576
負債純資産合計	36,495,729	40,539,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	971,020	1,260,787
売上原価	202,550	292,219
売上総利益	768,470	968,568
販売費及び一般管理費	220,635	266,319
営業利益	547,834	702,248
営業外収益		
受取利息	66	756
受取配当金	4,559	3,657
受取賃貸料	3,238	3,300
貸倒引当金戻入額	2,396	—
持分法による投資利益	10,012	—
その他	2,086	9,051
営業外収益合計	22,361	16,765
営業外費用		
支払利息	211,520	242,813
賃貸不動産経費	741	692
為替差損	2,417	—
借入手数料	14,048	36,540
株式交付費償却	1,998	1,998
その他	—	961
営業外費用合計	230,726	283,005
経常利益	339,469	436,008
特別利益		
固定資産売却益	—	445,445
特別利益合計	—	445,445
特別損失		
関係会社株式売却損	—	26,902
固定資産売却損	—	11,909
その他	—	229
特別損失合計	—	39,042
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	339,469	842,411
匿名組合損益分配額	6,713	39,159
税金等調整前四半期純利益	332,755	803,252
法人税、住民税及び事業税	64,016	150,457
法人税等調整額	△27,954	75,548
法人税等合計	36,061	226,005
四半期純利益	296,694	577,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	296,694	577,247

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	296,694	577,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,720	△2,662
その他の包括利益合計	7,720	△2,662
四半期包括利益	304,415	574,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,415	574,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	332,755	803,252
減価償却費及びその他の償却費	134,802	202,787
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△434,199
子会社株式売却損益(△は益)	—	26,902
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,396	956
受取利息及び受取配当金	△4,626	△4,413
支払利息	211,520	242,813
持分法による投資損益(△は益)	△10,012	—
借入手数料	14,048	36,540
信託預金の増減額(△は増加)	6,134	29,490
売上債権の増減額(△は増加)	△14,744	△13,529
営業貸付金の増減額(△は増加)	△95,000	△1,762,293
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	△375,000	△139,341
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△137,258
前払費用の増減額(△は増加)	—	△31,952
預り金の増減額(△は減少)	—	△31,682
その他	279,884	228,438
小計	477,366	△983,490
利息及び配当金の受取額	4,626	4,413
利息の支払額	△208,351	△242,665
法人税等の還付額	178,384	138,832
法人税等の支払額	△214,272	△292,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,754	△1,375,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	135,000
定期預金の預入による支出	—	△455,400
有形固定資産の売却による収入	—	1,282,301
有形固定資産の取得による支出	△2,044,625	△4,410,642
無形固定資産の取得による支出	—	△114,326
関係会社株式の取得による支出	△36,000	—
預り保証金の受入による収入	112,064	311,552
預り保証金の返還による支出	—	△11,821
差入保証金の差入による支出	—	△15,000
投資有価証券の取得による支出	—	△29,960
長期前払費用の取得による支出	△44,091	△20,277
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	71,482
その他	△15,564	3,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,028,216	△3,253,639

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,000	△277,773
長期借入れによる収入	1,660,000	4,690,000
長期借入金の返済による支出	△516,890	△1,226,097
借入手数料の支払額	△19,020	△30,967
匿名組合員からの出資払込による収入	410,000	1,567,900
匿名組合員への出資払戻による支出	△280,000	△720,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,129,488	163,897
自己株式の取得による支出	△130,916	△408,225
配当金の支払額	—	△217,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,002,660	3,540,964
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212,198	△1,087,855
現金及び現金同等物の期首残高	194,953	1,584,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	407,151	496,278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社SUNTACの株式の100%を売却しております。これに伴い、第1四半期連結累計期間から、同社を連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、収益認識会計基準等の適用による損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

第3回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が570,462千円、資本準備金が570,462千円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,931,724千円、資本剰余金が6,095,959千円となっております。

また、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式511,700株の取得を行っていましたが、取得期間の終了により、2020年8月11日開催の取締役会決議に基づき、引続き自己株式148,800株の取得を行ってあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が130,916千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が329,921千円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 配当に関する事項

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	217,769	2.00	2021年3月31日	2021年6月14日

②基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式411,400株の取得を行っていましたが、取得期間の終了により、2021年8月13日開催の取締役会決議に基づき、引続き自己株式1,773,900株の取得を行ってあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が408,225千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が961,959千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	127,636	840,480	968,117	2,903	971,020	—	971,020
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	127,636	840,480	968,117	2,903	971,020	—	971,020
セグメント利益	88,954	312,853	401,807	700	402,508	△63,039	339,469

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費並びに運営費及びアドバイザー契約に関する成功報酬であります。

2. セグメント利益の調整額△63,039千円は、内部取引消去額91,157千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△164,209千円及び持分法による投資利益10,012千円であります。全社費用は、主に報告セグメン

トに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	200,476	1,010,415	1,210,891	49,896	1,260,787	—	1,260,787
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	200,476	1,010,415	1,210,891	49,896	1,260,787	—	1,260,787
セグメント利益	152,113	351,697	503,811	△6,158	497,653	△61,644	436,008

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業、レンタル事業、知的財産関連事業、電子部品のブランド使用料並びに中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。

2. セグメント利益の調整額 △61,644千円は、内部取引消去額107,687千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,332千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計		
顧客との契約から生じる収益	—	—	—	341	341
その他の収益(注) 2	200,476	1,010,415	1,210,891	49,554	1,260,446
外部顧客への売上高	200,476	1,010,415	1,210,891	49,896	1,260,787

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、知的財産関連事業及び電子部品のブランド使用料であります。

2. その他の収益には、リース取引に関する会計基準及び金融商品に関する会計基準で認識される収益が含まれております。